

教育学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》白石 淳 jun-jun@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

前半は教育の歴史や思想、教育の基本的概念・理念を、後半は高等教育機関において指導をする際に必要な知識等を学修する。

【学修目標】

この授業は、将来、高等教育機関等の教職に就く志しを持った大学院生に対し行います。授業終了後には、次のことができるようになっているはずです。また、そのようになるように努力してください。

- (1) 教育の基本的概念、教育の目的等を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。
- (2) 教育の方法等に関する基礎的な知識・技能が身に付き、授業を展開することができるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育の基本概念	『教育はなぜ必要なのか、学生から「退学したい」と申し出があったらどのように答えるのか』 (1)はじめに(授業・自己紹介を含む) (2)教育の概念・必要性 (3)ライフストーリーと学習 (4)EDUCATION (5)教育(自分の)哲学を考え持つ重要性	白石 淳
2	教育の必要性	『ひとはなぜ学ぶのか、天職の意味はなにか、大学と専門学校との違いはなにか』 (1)教育の必要性 (2)義務としての教育 (3)天職の意味(専門職、資格)	白石 淳
3	教育の思想	『教育思想。発達・成長を促すポイントはなにか』 (1)子供の発見 (2)フレーベルの教育思想 (3)モンテッソーリの教育思想 (4)環境の重要性	白石 淳
4	日本の教育の歴史	『戦前と戦後の(教育)違いはなにか』 (1)学校制度の始まり (2)戦前の教育の特徴 (3)戦後の教育の特徴	白石 淳
5	教育を受ける権利と教育基本法	『教育の権利とはなにか、権利とはなにか』 (1)教育を受ける権利 (2)教育基本法 (3)権利の意味、権利と義務	白石 淳
6	北海道の学校の特徴	『北海道の学校教育の特徴は、選ばれる学校とは』 (1)北海道の人口、限界集落 (2)北海道の学校の特徴 (3)高校の学習内容(新しい学習指導要領) (4)高校生の進路と選ばれる学校、学校づくり	白石 淳
7	学校における危機管理	『(自分を)守るためにどうすればよいのか』 (1)事前、事後措置 (2)訴訟(因果関係) (3)民法(不法行為、債務不履行)、 刑法(業務上過失)、 国家賠償法(瑕疵、作為・不作為) (4)ハインリッヒの法則 (5)なぜ繰り返されるのか	白石 淳

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8	授業を構成する要件	『授業の目標』 (1) 構成する要件 (目標、教材、学生、教員、指導案) (2) 学生集団(集団圧力、学級カースト) (3) DP、CP、シラバス (4) PDOAサイクル (5) 第三者評価	白石 淳
9	授業運営の工夫(指導案)	『90分の授業は、学生は集中できるのか』 (1) 年間指導計画(シラバス) (2) 初回の授業で何を話すか (3) 90分間の授業の流れ (導入、展開、まとめ、評価(ループリップ表をつくる))	白石 淳
10	主体的・対話的で深い学びの授業	『授業をしない塾はなにをするのか、主体的な学びをすすめるためのはどうしたらよいのか』 (1) 主体的・対話的(学生、教員、偉人他)な深い学びの意味 (2) 生きる力(課題解決能力) (3) アクティブラーニング	白石 淳
11	教材の工夫	『欠席しない授業にするためにはどのような工夫が必要か、予習・復習をさせるための方法は』 (1) 学生の実態 (2) 教材・ICT (3) 発問、課題の意味 (4) 自分はどのような授業がしたいのか	白石 淳
12	授業の実際(1)	『授業が上手(下手)な先生はどこが異なるのか』 (1) 上手(下手)な先生の授業 (2) 学習の指導案の作成 (3) 2040年問題 (4) 教員の採用	白石 淳
13	授業の実際(2)	『授業をつくる』 (1) 授業を行う(Aさん、Bさん)	白石 淳
14	教員の職務	『授業をつくる』 (1) 授業を行う(cさん、dさん)	白石 淳
15	まとめ	今までの授業を振り返る	白石 淳

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

取り組み状況(課題、自己評価他) 100%

【参考書】

大学教員準備講座

大学教員のための授業方法とデザイン

成長するティップス先生

【学修の準備】

予習、復習: 授業時に提示します

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教員としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。